

## 山形県中学校総合体育大会夏季大会 熱中症対応について

### (バドミントン競技)

会場 小真木原総合体育館

#### 1 全体として実施すること

- (1) 近隣病院への緊急時の対応への依頼を行う。
- (2) 会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整える。
- (3) 出場校に「熱中症事故防止について」の文書を配布し生徒への事前指導を行う。
- (4) 競技会場に、緊急用の氷、スポーツドリンク等を準備する。
- (5) 選手や役員の健康観察をこまめに行う。
- (6) 競技場の WBGT、温度、湿度を定期的に測定する。

#### 2 状況に応じて競技ごと対応すること

- (1) 可能な限り、冷房の効く会場や部屋を確保し、休憩場所や救護室に充てる。
- (2) WBGT 31 以上または気温 35 以上を指している間は、一時中止や日程の変更等柔軟な対応を行う。
- (3) 冷房が効かない場合は、通常よりも多く換気時間の設定を行う。
- (4) 連続試合となる時の間隔を多めに取り、タイムテーブルの変更を検討する。
- (5) 競技役員や観戦者にもこまめな水分補給を呼びかける。
- (6) 上位進出者の負担を減らすため、ルール内でポイントが短縮できることを実施する。
- (7) 会場内の人口を減らし、人口密度を下げられるように、競技順番の変更を検討する。

#### 3 変更の連絡について

- (1) 事前に変更が予想される場合は、県中総体参加校に「競技上の注意」を配布し周知を図る。
- (2) 具体的な内容や詳細や緊急の変更は、監督会議で連絡し周知を図る。
- (3) 状況に応じて「山形県中学校体育連盟ホームページ」に掲載する。

<http://www.cyutairen.jp>